

きみつ市議会 だより

163号

令和8年2月1日発行

CONTENTS

- 2 第4回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(12議員が質問)
- 10 委員会の焦点



第4回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより
編集委員会



九十九谷展望公園から眺める初日の出



君津市
マスコットキャラクター
きみぴん

九十九谷展望公園は東から南にかけて眺望がよく、上総丘陵が幾重にも連なる山並みの風景を一望することができ、元旦には初日の出を見るため大勢の方で賑わいます。このほか鹿野山エリアには行楽やスポーツができるスポットが多くあるほか、自転車で山や峠の登り坂を楽しむ方からも人気があるなど、多様な楽しみ方ができる観光地として多くの方が訪れています。

第4回定例会のあらまし

君津市ボールパーク整備等基金条例の
制定など

議案35件、陳情2件を議決

第4回定例会は、11月28日から12月19日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、君津市ボールパーク整備等基金条例の制定など市長提出の33議案、陳情2件、委員会提出の1議案、議員提出の1議案を審議し、慎重審議の結果、陳情2件を趣旨採択とし、そのほかは原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、12人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

主な日程

第4回定例会（12月）	
11/28(金)	本会議（招集日） 諸般の報告、会期の決定、議案等の上程など
12/3(水)	本会議
4(木)	一般質問
5(金)	本会議 一般質問、質疑、委員会付託など
10(水)	総務常任委員会
11(木)	総務常任委員会 教育福祉常任委員会
12(金)	建設経済常任委員会
19(金)	本会議（最終日） 委員長報告、質疑、討論、採決など

❖ 反対

本会議における主な討論

❖ 賛成

- ・ボールパークは都市計画法に基づく都市施設として位置づけられており、都市計画の決定・変更は都市計画審議会での審議・議決が先に必要であると考えます。
- ・スポーツ施設等を核とした戦略的なまちづくりが、「街なか」の賑わい創出、地域経済の活性化、交流人口の拡大に資するものであることの明確なビジョンを市民に説明することが先決であると考えます。

過疎化対策、地域活性化対策が叫ばれる中、地域のコミュニティセンターの利活用が求められているにも関わらず、休館日の増加、開館時間の短縮が行われ、時代に逆行していると考えます。

議案第7号

君津市ボールパーク整備等基金条例の制定について

議案第18号

君津市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第29号

令和7年度 君津市一般会計補正予算（第6号）

- ・ボールパーク整備は多額の事業費を要するが、今後の市の魅力向上、活性化に大きな役割を担うものとして期待する。
- ・市内企業からの寄附金をはじめ、市外の個人、企業からのふるさと納税等は貴重な財源となるものであり、寄附の受け皿となる基金を創設することは理解できる。

- ・ボールパーク整備推進事業に係る調整池の実施設設計、地盤改良設計業務については、施設のおおよその配置が明らかになった段階で予算計上されたものと理解する。
- ・ハザードシミュレーションについては地域住民から出た不安を払拭するためのものでもあり、地域に寄り添った予算である。また、事業を迅速かつ着実に進めるために必要不可欠な予算であると考えます。

令和7年度 一般会計補正予算

主な事業を
紹介します

君津市一般会計補正予算（第6号・第7号）の主な事業は以下のとおりです。

ボールパーク整備推進事業

4,320万8千円

造成設計業務において調整池の設計業務委託、地盤改良の検討業務委託及びハザードシミュレーションが必要となったことから各業務に要する費用を増額します。

普通地方交付税 超過交付返還金

2億8,124万
8千円

令和5年度普通地方交付税錯誤額を返還します。

特別職・一般職 人件費等

1億3,411万7千円

県の人事委員会の勧告を参考とした条例改正に伴う増額及び人事異動などによる過不足調整の見込み額を増額します。

物価高対応ギフトカード給付事業

3億8,565万6千円

物価高騰の影響を受けている生活者を支援するため、平成19年4月1日以前に生まれた市民1人につき5千円のギフトカードを支給します。

物価高対応子育て応援手当支給事業

2億790万1千円

物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、平成19年4月2日以降に生まれた（令和8年3月31日までに生まれた児童を含む）児童1人につき2万円を支給します。

発議案第4号

（仮称）貞元総合公園整備等調査特別委員会を設置しました

今定例会の最終日（12月19日）に、議長を除く全議員からなる「（仮称）貞元総合公園整備等調査特別委員会」の設置について、議員発議により議案が提出され、全会一致で可決されました。

（仮称）貞元総合公園整備等調査特別委員名簿

令和7年12月19日設置（議席番号順）

委員長	副委員長	委員					定数
松本裕次郎	高橋 健治	林 祥子	小倉 広紀	満武 琢也	大和ヒロシ	天笠 等	20人
		大滝 浩介	四宮 安彦	鶴岡 一成	鈴木 高大	石上 壘	
		佐藤 葉子	野上 慎治	三浦 道雄	下田 剣吾	保坂 好一	
		高橋 明	三浦 章	小林喜久男			

■設置の目的

令和12年1月の供用開始に向け整備が進められている（仮称）貞元総合公園について、計画に係る進捗状況及び諸課題に加え、公園整備等を活かしたまちづくりや経済活性化策、スポーツを通じた関係人口・交流人口の確保など、多角的な視点から調査研究を行うため。

人事案件

に同意

◆人権擁護委員

鳥井 みゆき（向郷）
永塚 朝子（大井戸）

◆教育委員会委員

島田 義久（中野5丁目）

◆固定資産評価審査委員会委員

飯田 朝夫（箕輪）
大嵩 正博（中野6丁目）
五十嵐 邦雄（君津台3丁目）



出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第3号	教育委員会委員の任命について
議案第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第8号	君津市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第12号	職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第13号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議案第14号	君津市教育支援センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第15号	君津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第17号	君津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第19号	君津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
議案第20号	君津市福祉作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

議案番号	件名
議案第21号	君津市火葬場設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
議案第22号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例を廃止する条例の制定について
議案第23号	君津市自転車駐車場の指定管理者の指定について
議案第24号	君津市森林体験交流センターの指定管理者の指定について
議案第25号	君津市立公園（亀山湖畔公園）の指定管理者の指定について
議案第26号	君津郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び君津郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第27号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第28号	財産の無償譲渡について
議案第30号	令和7年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第31号	令和7年度君津市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第32号	令和7年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第33号	令和7年度君津市一般会計補正予算（第7号）

※議案第21号は地方自治法及び条例に規定された特別多数議決のため、議長を含め採決を行いました。

◆陳情

陳情番号	件名
陳情第10号	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書
陳情第11号	坂田地区における再生資源屋外保管場を許可しない意見書の千葉県への提出を求める陳情

※陳情第10号、第11号は趣旨採択について諮りました。

◆議員提出議案

議案番号	件名
発議案第4号	（仮称）貞元総合公園整備等調査特別委員会の設置について

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第5号	坂田地区における特定再生資源屋外保管業の許可の申請に関する意見書について

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	議員																				
			小倉 靖幸	大和 ヒロシ	天笠 等	鶴岡 一成	三浦 草	小林 喜久男	下田 剣吾	保坂 好一	高橋 明	大滝 浩介	四宮 安彦	鈴木 高次郎	満武 琢也	石上 壘	松本 裕次郎	高橋 健治	佐藤 葉子	野上 慎治	林 祥子	小倉 広紀	三浦 道雄
議案第7号	君津市ボールパーク整備等基金条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	君津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	君津市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和7年度君津市一般会計補正予算（第6号）	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第21号を除く議案については議長は採決に加わりません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対

一般 質問

Q & A

第4回定例会において、12人の議員が質問を行いました。
各議員の質問の大纲については下記のとおりです。(通告順)
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

小倉 広紀 議員

P.6

諸派・改革きみつ

- ・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・総合計画について
- ・税務行政について
- ・環境行政について

四宮 安彦 議員

P.6

明政会

- ・明るい将来を目指す君津市について
- ・JR久留里線について

大和 ヒロシ 議員

P.6

令和新政

- ・環境保全について
- ・快適で安心して暮らせるまちについて
- ・公共施設の管理運営について
- ・スポーツに親しめるまちについて
- ・ともに創る次世代につながるまちについて
- ・経済と環境が調和したまちについて

下田 剣吾 議員

P.7

麒麟

- ・市長公約について
- ・直面する課題について

大滝 浩介 議員

P.7

明政会

- ・持続可能な公共交通を目指して
- ・スポーツによる地域づくり
- ・使われ活きる公園の実現
- ・日本一チャレンジする市役所
- ・誰もが安心して過ごせるまち

高橋 健治 議員

P.7

公明党

- ・市民が安心して暮らせるまちについて
- ・経済と環境が調和したまちについて
- ・教育環境について
- ・物価対策について

満武 琢也 議員

P.8

きみつ未来

- ・総合計画について
- ・安心して子育て・子育てでき喜びを楽しめるまちについて
- ・DX推進について
- ・市民の命を守る対策について

石上 壘 議員

P.8

きみつ未来

- ・君津市の魅力発信について
- ・環境グリーン都市の実現に向けて
- ・財政運営について
- ・千葉ロッテマリーンズファーム本拠地移転について
- ・安全安心な働く環境について
- ・中学校の部活動について
- ・防犯力の強化について

三浦 道雄 議員

P.8

諸派・日本共産党

- ・市長の政治姿勢について
- ・医療・福祉行政について
- ・環境行政について

鶴岡 一成 議員

P.9

令和新政

- ・安心・安全なまちづくり
- ・行政運営について

野上 慎治 議員

P.9

公明党

- ・地域共生社会の推進について
- ・安心・安全なまちづくり推進について
- ・特色ある教育の推進について

林 祥子 議員

P.9

諸派・希望にみらい

- ・人口増加策について

録画配信を ご覧頂けます

一般質問のページでは氏名下部の二次元コードから各議員の一般質問の録画配信ページに移動できます



議員名





諸派・改革きみつ
小倉 広紀 議員



▲録画配信

福祉行政

Q 障がいがある方のために設置が義務づけられている車椅子駐車場の設置基準は、幅3.5m以上、駐車場台数200台以下はその2%以上、200台を超える場合はその1%に2台を加えた数以上という認識は合っているか何う。

A そのとおりである。

Q 例えば文化ホール、公民館については、これらの基準を満たしているのか何う。

A 各公民館は、おおむね設置基準を満たしている。文化ホールは、車椅子使用者用駐車施設の設定基準では計算上11台必要で、現在、思いやり駐車場が8台分設置してある。

税務行政

Q 相続放棄され、かつ所有者が正常に登記されていない状況にも関わらず、その居宅、建物に住み続け使用しているケースがあると考える国は、所有者ではなく固定資産の使用に対して固定資産税を課税することができる制度を設けているが、本市の対応を何う。

A 固定資産の使用者を所有者とみなして固定資産税を課すことができる制度が創設され、本市では、使用者課税に係る事務処理要綱を整備しているが、現時点では使用者課税を実施した事例はない。今後、課税の公平性の観点から調査を継続し、適切な課税を実施する。



明政会
四宮 安彦 議員



▲録画配信

千葉ロッテマリーンズファーム誘致

Q 現時点で150億円と試算している千葉ロッテマリーンズの2軍誘致のための都市公園整備について、国等の補助金を活用し、仮に90億円を借入したとして30年で毎年3億円を返済していかなければいけない。年利を2%と考えたとした場合も初年度は1億8千万円の金利がかかり、合計で4億8千万円の支払いが必要で、その後の修繕費等を考えた場合、最低でも千葉ロッテ側に毎年の使用料として5億円程度いただいでいかないと市の財政に影響を及ぼしてくるものと考えますが、どの程度を考えているのか何う。

A 球団からの施設利用の対価については7年度に整備基本計画を策定する中で概算事業費を算出するため、現時点では正確な数字を示すことはできないが、市民利用分を除いた費用のうち多くを千葉ロッテマリーンズに負担していただく予定となっている。

JR久留里線の今後

Q 代替交通としてバスの運行を考えているようだが、当該地域にある保育園の送迎バスの廃止を決定した本市が、住民に対し公共交通を維持していけるのか何う。

A JRが主体となる場合、今回の久留里線と同様の事態が起きる懸念もあることから、地域の足を守るため市が主体となって運行していく。



令和新政
大和 ヒロシ 議員



▲録画配信

鹿野山の無許可埋め立て

Q 昨年6月に鹿野山地先にて発生した無許可の埋立て事案により、土砂で赤道が埋まる等の被害が出ているが、事案の経緯及び市の対応、また、埋立てられた土砂が今後どうなるのか何う。

A 6月9日、近隣住民の方から市へ通報があり、同日のうちに現地確認を行い、行為者に埋立面積が500平方メートル以上については、市の残土条例の許可が必要であることや、盛土規制法を所管する千葉県に連絡するよう指導した。以降、県及び警察と連携し指導を継続していたが、行為者は、無許可で埋立て範囲を拡大し、隣接する法定外道路を通行不能としたことから、8月20日に警察へ被害届を提出し、10月28日に行方者2名が逮捕された。引き続き県と連携し、行為者に対し、是正工事により現状回復するよう、強く指導していく。

ボールパークの用地取得は進んでいますか

Q 用地取得に向けた取組について何う。

A 2030年1月の供用開始に向け、事業予定地に係る地権者と個別に調整を行っており、現状では約9割、面積にして約7割の地権者より土地使用の同意を得ており、今後も計画に遅れないよう取り組んでいく。



麒麟
しもだ
下田 剣吾
議員



▲録画配信

市長公約「移動困難者へ支援」を守って

Q 免許返納した市民が買い物や通院に困っている。新しい清和地区のバス路線の経費をどう。

A 清和公民館から県民の森までのバスは年間の乗車人数が約8千人。経費は3千7百62万円。

Q 木更津、富津、袖ヶ浦では新交通を導入した。平田の方が小糸で買物し帰る待ち時間をどう。市に寄せられた声によると、清和公民館で、4時間強の待ち時間があると聞いている。

市長公約「周南公民館を建て替えます」

Q 市長選まで1年ない。任期中に公約した避難所である公民館をいつ建て替えるのかどう。

A 必要性は認識しているが、諸課題や社会動向、全体の公共施設の状況等を勘案して検討する。
Q 耐震補強していないから地震で職員が亡くなる可能性もある。今もことも食堂をやっている。公約を守る責任があると考えるのが見解をどう。

A その年の歳入を歳出に充てるのが大原則である。優先順位をつけ、新年度の予算編成を行う。

Q 新年度はロッテの球場は用地買収のみ。その後の造成・建設は数十億かかる。5年以上公民館建替えが先送りになると考えるが見解をどう。

A 公共施設管理の観点からも、優先順位を決めて総合的に判断していきたい。

試算された事業費 (設計、建設、監理等)	
周南公民館	約6億3千万円
小糸公民館	約8億5千万円
小櫃公民館	約7億6千万円
下田作成	

かずさ4市の新しい交通導入	
木更津	ふくちゃんバス(500円～)
富津	峰タク(500円～)、 ぶちバス(500円～)
袖ヶ浦	全域デマンド交通 チヨイソコ(300円～)
君津のみ無し	下田作成



明政会
おおたき
大滝 浩介
議員



▲録画配信

予防接種の自己負担額

Q 65歳以上のインフルエンザワクチン自己負担額が近隣より高いが、声は届いているかどう。

市民体育祭

Q 第2期スポーツ推進計画では開催を支援するところがあるが、今後の対応をどう。

A 計画期間は令和8年度までのため、8年度は支援ができるよう努める。

Q スポーツを通じた地域交流の場の普及への見解をどう。

A 北子安地区のような地域で活動する団体、体育協会、スポレク推進委員が主体となり、幅広い年代の方が参加しやすい大会を各地区で開催しており、地域に根差す活動を支援していく。

小糸・清和地区のバス運行

Q 中島・豊英線の見直しで期待する効果をどう。

A 君津駅までの直通便や夜間20時台の下り便を増便した。高校生の帰宅時間にも対応でき、利便性の向上が見込まれる。

Q 見直しは交通空白地域の解消に至っていない。デマンドタクシー等の検討の余地をどう。

A 経費が増大するほか、タクシー事業者への配慮も必要。見直し後の利用状況を把握し、持続可能な交通体系の構築に努める。



公明党
たかはし
高橋 健治
議員



▲録画配信

道路維持管理における人員体制

Q 持続可能な道路管理体制の構築に向けて、現状の道路維持補修についてどう。

A 本市は市域が広く、道路維持補修に関する要望が多いことから、職員で迅速に対応できるものは職員が直接対応し、職員による対応が困難なものは委託するなどして安全な道路環境の維持・管理に努めている。

市営住宅の老朽化対策

Q 建設から長い年月が経過した市営住宅が増え、老朽化だけでなく住民の高齢化に伴う住環境の課題が顕在化しているが、本市の対応をどう。

A 居住サポート住宅認定制度への対応を含め、福祉部局をはじめ関係部署と連携し、高齢者などの住宅確保要配慮者が安心して暮らせるよう取り組んでいく。

重点支援地方交付金の活用

Q 物価高対策として交付される重点支援地方交付金をどのように使っていくのか、また、どのような分野に力を入れていくのかどう。

A 新たに食料品の物価高騰に対する特別加算が措置されることとなり、国の動向や本市の実情を十分に踏まえ、より効果的な取組につながるよう検討していく。



きみつ未来
満武 琢也 議員



▲録画配信

千葉ロッテマリーンズファーム本拠地誘致

Q 今後誘致が実現し、運用開始から30年後の地域・施設について、現状どのように考えているのか伺う。

A 運用期間を30年としているが、将来は駅周辺、ボールパークまでの通り沿いやボールパーク周辺についても賑わいが創出され、また千葉ロッテマリーンズ自体が本市のまちづくりの拠点として広く内外に認識され、なくてはならない存在に発展することを確信している。

Q 若者が集まる場所としては、どういった施設にしていこうか伺う。

A スタジアムについては例えば若者が集まる音楽イベントなどの開催、また公園広場については小さい子どもも楽しく遊べるような場所にしたと考えている。

子どもたちの遊び場

Q 貞元地区は新しく住宅街が形成され、子育て世代が多く暮らしているが、周辺に公園がない。今後この地域に新しく公園を設置することはできないのか見解を伺う。

A 貞元地区の公園整備については、現在千葉ロッテマリーンズファーム本拠地移転に伴い、新たに整備する(仮称)貞元総合公園において、野球場のみならず子どもたちが安心して遊べる空間の整備についても検討を進めていく。



きみつ未来
石上 塁 議員



▲録画配信

発信力の強化

Q 本庁舎や図書館周辺へのデジタルサイネージ導入についての検討状況について伺う。

A 環境グリーン都市推進パートナー制度により、本庁舎敷地内でのデジタルサイネージ設置を含めた民間提案を採択し、現在、事業化に向けた詳細協議の準備を行っている。

松本ピアノによるプロモーション

Q 松本ピアノを市内の小中学校に設置するなどして、認知や体験の機会を作ってはどうか伺う。

A 本市出身の松本新吉氏が創業したことや、外貨輸にピアノ工場があったことなどを副読本で伝えることで子どもたちの興味を喚起し、文化ホールでのコンサートや演奏体験で魅力に直接触れられるような流れを作っていきたい。

ファーム本拠地移転の計画の進捗

Q 事業費及び資金の流れ、また財政に与える影響についての考えを伺う。

A 概算事業費は約150億円で、国の交付金や寄附の獲得等により財政負担を抑えていく。また、起債等を活用し長期間の分割支払いで負担の平準化を考えている。千葉ロッテマリーンズから施設等の利用に対する応分の負担として利用料をいただく予定であり、一般財源からの支出の負担は少ないものと考ええる。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員



▲録画配信

久留里線(久留里・上総亀山間)の存廃問題

Q 久留里線の存続、地域活性化に取り組んでいる団体等がある中、なぜバス転換しようとしているのか伺う。

A 地域の皆様や関係団体の方々の長年の取組は十分認識している。市としても地域の魅力向上を目的として、関係機関と連携し、地域の活性化に向け取り組んできた。一方、存続や廃止の判断はJRが行うもので、市としては移動手段の空白が生じないように、利便性の高い、持続可能な公共交通の確保に向け取り組んでいる。

Q 千葉県が事務局である検討会議における本市の立ち位置が明確でなかったと考えるが、認識を伺う。

A 検討会議の段階から久留里線の必要性は示してきている。運行主体であるJRから正式な方針が示されない中、市として態度を明確にすることは困難であったことは事実である。

Q 久留里線の廃線は、高校生等の足を奪うことになるが、バス転換による運行系統等の説明会の実施は、拙速すぎないか。

A 鉄道の今後は、運行主体であるJRの判断で廃止の届出をするもので、市が決定できるものではないが、この現実をしっかりと受け止め、地域住民の暮らしを支える移動手段が十分確保されるよう取り組んでいく。



令和新政
つるおか
鶴岡 一成
議員



▲録画配信

保育園送迎バスの今後

Q 保育園送迎バスの打ち切りは決断を下すときではないと思うが、再考できないのか何う。

A 地域の大切なものとして保育園バスを捉えていただいているということを真摯に受け止めていただくと。子どもたちの安全を考え、保護者の方々と話し合ってきたが、不十分な点もあるということを受け止め、バスに限らず、子どもたちがどう安全に保育園に通うことができるのかを考えていきたい。

救急車及び消防車両の点検

Q 消防署員による点検はどのように行っているのか。また、タイヤ交換はどの程度の期間で行っているのか何う。

A その日の勤務員により車体やタイヤなどの目視による点検に加え、各種照明装置やサイレンなどの動作点検を朝の運行前と夕方の2回、毎日行っている。タイヤ交換は走行距離やタイヤの摩耗状況等を考慮しながら、必要な場合に交換を実施している。

林道坂畑線の早期復旧

Q 亀山自治会連絡協議会から要望書が市長に提出されたが、現状と今後の見通しを何う。

A 崩落箇所だけでなく、周辺や全体の復旧が必要となる可能性があり、費用の捻出が困難な状況である。



公明党
のがみ
野上 慎治
議員



▲録画配信

災害・避難カードの作成を！

Q 愛媛県大洲市では、避難の要点が書かれた災害避難カードを作成し、ごみ収集表のように冷蔵庫などに掲示するなどいつでも見られるようにしている。また、作成過程の中で近所の要支援者も明確になる。本市でも導入してはいかがか何う。

A 愛媛県大洲市では、地域で話し合い、市民自らで作成をしている。現在、同市から聞き取りを行うなど、導入に向け研究をしている。

地域と連携した特色ある教育を！

Q 清和地域と周西地域の地域づくり協議会が、それぞれの学校と地域をつなぐ役割を担い、地域と連携した特色ある教育を推進してはいかがか何う。

A 特色ある教育を進めていく上で、地域づくり協議会の皆さんが相談窓口となっていただけけることは大変ありがたいと考える。

人を育む読書教育の充実を！

Q 本との出会いは子どもたちの成長にとって重要であり、学校図書館司書補助員による読み聞かせや本の紹介は読書に興味を持たせる上でまたとない機会であると思うが、その効果について何う。

A 読み聞かせは、子どもたちの興味・関心に合わせた本を選ぶなど、さまざまな工夫を取り入れながら行っている。読み聞かせを楽しみにしている児童生徒も多く、子どもと本をつなぐ大きな役割を担っている。



諸派・希望にみらい
はやし
林 祥子
議員



▲録画配信

空き家対策

Q 中古住宅取得補助事業の子育て世帯に対する現行の補助を詳しく何う。

A 中古住宅を取得する際の補助制度として、基礎額20万円に加え、子育て世帯加算10万円が受けられ、親世帯との同居や近居のほか、転入転居などの場合にはそれぞれ10万円の上乗せ加算が受けられる。さらに取得する中古住宅が1年以上空き家であり、併せてリフォームを行う場合は工事費用の2分の1、上限50万円を加算できる。

教育施策

Q 子育て世帯が引越し先を検討する際、教育環境を重要視する人が多いと考える。特色ある教育プログラムの充実が重要であると考えますが、小中学校における体験学習や地域住民との協働による教育支援の取組について何う。

A 本市における実践例として、小櫃小学校では、畑が生息できる環境づくりを目指したゲンジボタルの放流体験や公園の環境整備。周東中学校では小糸在来[®]の大豆を使った味噌作りなど。副読本「きみペディア」には、これらの活動も含め各学校が参考にしやすいように体験学習の実践例を多数掲載している。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(4ページ)を参照してください。

総務常任委員会



佐藤葉子委員長

審査案件(議案第7号、議案第9号から議案第12号、議案第18号、議案第19号、議案第22号、議案第26号から議案第30号、議案第32号) 議案第7号

ボールパーク整備等 基金条例の制定

(内容) 千葉ロッテマリーンズファーム本拠地であるボールパークの整備及び運営を行う事業に要する経費の財源に充てるため君津市ボールパーク整備等基金を設置するもの。

問 寄附金以外に基金に積み立てを想定するものについて伺う。

答 ネーミングライツ料等を想定している。

問 企業版ふるさと納税による寄附金と当基金の関係について伺う。

答 基金に積み立てることにより、複数年度での活用が可能となり、寄附企業はこれまでと同様に税額控除の優遇措置を受けられる。

問 今年度の寄附の受け入れ状況について伺う。

答 すでに1億円の指定寄附があったほか、寄附の申し出を1件受けている。

反対討論 ボールパークの整備については都市計画審議会における審議を経ていないことから、現時点においては不確実性が残っており、基金を設置する時期としては適切ではない。今後、審議会において事業計画や財源計画について審議が行われ承認が得られた後に、決定された事業計画に基づき具体的な資金調達の仕組みである基金を設置するというプロセスを踏むべきである。

賛成討論 本基金は、今後見込まれる企業版ふるさと納税などの寄附金を基金へ積み立てることにより、翌年度以降の事業費への充当が可能となるなど、持続的かつ柔軟な財源確保が期待できる。事業の進捗状況に応じて適切な時期に基金を投入することにより、寄附金を最大限に有効活用することにもつながることから、本基金の設置は必要かつ有益なものであると考える。
(可否同数により委員長裁決で可決すべきものと決定)

議案第29号(補正予算)

ボールパーク整備推進 事業

問 今回の補正予算に当該業務を計上するに至った経緯及び業務内容について伺う。

答 (仮称)貞元総合公園における施設ごとの機能や規模、配置などを検討する基本計画と造成設計を一体化した業務委託を実施している中で、調整池については概ね規模や位置が定まってきたことから、今回は、工事発注に必要となる調整池の実施設計を行う費用を計上したものである。地盤改良については、専門家の判断を仰ぐこととしたことから、現行の造成設計業務には含めていなかったが、隣接道路の地質調査結果を踏まえ、地盤改良の必要性が確認できたことから、軟弱地盤の技術解析や対策工法の選定等に要する費用を計上した。ハザードシミュレーションについては、地権者と意見交換をする中で、ボールパークの整備が地域の浸水状況に影響を与えるのではないかと懸念する声が多かったことから、ハザードシミュレーションを実施することとし、シミュレーション結果は、地権者や周辺住民に説明するほか、造成高の検討や小糸川のしゅんせつについても活用していきたい。

意見 令和7年第2回定例会において、現況測量、地質調査、基本計画及び造成設計業務に係る補正予算が計上されており、その時点において追加が予定されている業務についても説明がなされるべきであった。

反対討論 「ボールパーク整備推進事業」に関し、全体の事業計画案が示されていない中で事業が進められており、議会への説明も尽くされていない。

賛成討論 今回の補正予算については、ボールパーク整備に係る基本計画及び造成設計業務等を進める中で、必要であると判断されたものや、これまでの調査結果や施設の配置の検討などを踏まえて実施すべきことが明確になつてきたものであり、特にハザードシミュレーションについては、地域からの要望によるものとして今定例会での補正予算となったことは理解できるもので、それぞれの業務については、ボールパークの整備に次の段階に移行するに当たり、必要不可欠なものであり、事業を着実に進めるための予算が計上されている。
(賛成多数で可決すべきものと決定)

教育福祉常任委員会



鶴岡一成委員長

審査案件(議案第8号、議案第14号から議案第17号、議案第20号、議案第29号、議案第31号、陳情第10号)

教育支援センター設置条例の改正

（内容） 不登校児童生徒に対し、学校復帰及び社会的自立の支援を行う君津市教育支援センター（通称「きみつメイト」）について、利用する児童生徒の増加に伴い、施設を移転するもの。

問 利用者の推移について伺う。

答 令和3年度の利用者が6名であったのに対し、令和6年度には29名まで利用者が増加している。

（全会一致で可決すべきものと決定）



きみつメイト移転先の保健福祉センターふれあい館

議案第29号（補正予算）

産後ケア事業

問 短期入所型・通所型の利用状況を伺う。

答 短期入所型の利用は市内医療機関で55日、市外医療機関で36日。通所型は市内医療機関で36日、市外医療機関で10日となっている。令和6年度に対象を拡大し、母子健康手帳交付時をはじめ様々な機会に積極的に周知することなどにより、利用者が増加したものと考えている。

（全会一致で可決すべきものと決定）

建設経済常任委員会



下田剣吾委員長

審査案件（議案第13号、議案第21号、議案第23号から議案第25号、議案第29号、陳情第11号）

議案第21号

上総聖苑の廃止

（内容） 平成4年に供用開始された上総聖苑について、火葬炉の老朽化のため、令和8年3月31日をもって閉苑しよとするもの。

問 火葬炉の一般的な耐用年数及び現在の設備の状況について伺う。

答 火葬炉の耐用年数は16年、平均的な改修年数は20年程度となっている。現在、排風設備や運転機器などに不具合が生じている。

（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第23号

自転車駐車場の指定管理者の指定

問 指定管理者からの納付金の見込みについて伺う。

答 納付金は収入の3%で、年間約49万円の見込みである。

（全会一致で可決すべきものと決定）



自転車駐車場

議案第24号

森林体験交流センターの指定管理者の指定

問 指定しようとする団体について伺う。

答 当該団体は現在、森林体験交流センターにおいて食堂を営んでいる事業者であり、これまで同施設で行われていたイベント等は継続して行う予定である。

問 指定管理期間を1年とする理由について伺う。

答 施設の利用方法や開館日時等を検討するため、前回3年のところ、今回は1年とするもの。

（全会一致で可決すべきものと決定）

議案第29号（補正予算）

有害獣捕獲等促進事業

問 捕獲数の状況及び捕獲数が増加している要因について伺う。

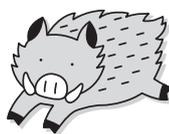
答 捕獲数は主にイノシシ、シカ、



森林体験交流センター

キョンが増加しており、9月末時点で、昨年同時期に比べ、約千頭増加し、4千46頭である。捕獲数増加の要因として、生息している個体数が増えていることや、捕獲従事者が昨年同時期に比べ、17名多く活動していることが理由と考えている。

（全会一致で可決すべきものと決定）



陳情第11号

坂田地区における再生資源屋外保管場を許可しない意見書の千葉県への提出を求める陳情

動議 地域住民が当該事業に対し強い懸念を抱いていることは理解できるものの、行政の手続きとしては条例等に適合している事業は許可せざるを得ないものであると考えることから、事業の不許可を求める意見書ではなく、仮に許可がされた場合を含んだ意見書を提出することが適当と考え、趣旨採択としたい。

反対討論 県に対して、当該事業の許可申請について慎重な判断を求めることや、仮に許可された場合の立入検査等について言及した意見書を提出すべきと考えるため、趣旨採択とすべき。

賛成討論 当該事業の計画地は第一種低層住居専用地域に指定されており、全用途地域の中でも最も良好な住環境の保護を目的とした地域であるため、スクラップヤード事業との調和は極めて難しく、住民に大きな不安を与えていることから、採択すべき。

（賛成多数で趣旨採択すべきものと決定）

きみつ少年少女合唱団 第24回定期演奏会

令和7年12月21日、「きみつ少年少女合唱団 Christmas Charity Concert Vol.24」が君津市民文化ホールで開催され、小倉靖幸議長をはじめ、多くの市議会議員が出席しました。このコンサートは定番のクリスマスソングや設立からのあゆみを歌で振り返るプログラムなどで構成され、合唱団設立 25 周年の節目を飾るステージとなりました。



議員研修会に参加しました

1月に開催された以下の研修会に本市議会議員が参加しました。

■ 令和8年1月16日

かずさ四市議会議長会 議員研修会
「議会が行うべき政策議論・政策提言とは何か データに基づくかずさ四市の現状と課題について」

■ 令和8年1月23日

千葉県南市議会議長会 議員研修会
「官民共創で地域課題を解決」



行政視察の受け入れを行いました

市議会では、自治体議会からの行政視察を受け入れ、本市の取組を紹介しています。令和7年の受入件数は10件で、最も多いテーマはドローンを使った橋梁点検に関するもので5件でした。本テーマは市職員が自らドローンを操縦して橋梁を点検し、ノウハウの蓄積や費用の縮減を図っている点などが注目されています。



スマートフォン用アプリで「議会だより」をご覧いただけます。

※いずれもアプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担となります。



Catalog Pocket

・アプリをダウンロードいただいたら、起動して「君津市」と検索してください。「日本語」で読むを選択してください。

iOS用
iPhone・
iPadなど



Android用
スマホ・
タブレット



マチイロ

・アプリをダウンロードいただいたら、起動して「お住まいの地域」で君津市を選択してください。

iOS用
iPhone・
iPadなど



Android用
スマホ・
タブレット



令和8年 第1回定例会 2月17日(火) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／松本 裕次郎
- 副委員長／佐藤 葉子
- 委員／鶴岡 一成 下田 剣吾 野上 慎治

- 発行／令和8年2月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>